



「コロナ禍でのつながりを〇〇する」活動見本市 開催

Connect & Join イベント

新型コロナウイルスの影響で、活動が制限された団体が多いなか、独自の工夫で活動し続け「つながり」を切らさなかった方々をゲストにお招きし、活動内容や新たなつながり方の紹介などの話をうかがうオンラインイベントを開催します！

当日の Keywords これらのキーワードについて、さまざまな団体の話を聴くことができます。

- 区内在住の外国人に対する言葉の支援
- 孤立など課題を抱える子ども若者の支援
- 発達障害についてさまざまな側面から考える
- 多世代の人が自由に交流できるコミュニティスペース(居場所)

当日はラジオの公開放送のような感覚でお送りしますので、直接オンライン会場へアクセスしてください。タイムテーブルやゲストの情報など詳しい情報は、こちらのサイトからご確認ください。

<https://fumicom.tokyo>

- どなたでも参加可能
- 事前申込不要
- 参加人数制限なし
- 途中参加途中退席可能
- 参加費無料

11月21日 SAT 10時—15時15分 オンライン開催

テーマの「〇〇」には、各団体の活動目的やつながりの意味など、さまざまな想いを聞かれた参加者の皆さま一人ひとりが、自分なりの言葉を見つけて気づきにつなげてほしい。という思いを込めています。

地域連携ステーション フミコム TEL 03-3812-3044

※当日スケジュールは都合により変更になる場合があります。フミコムのホームページなどで最新の情報をご確認ください。



地域連携ステーション フミコムのどっとフミコムでは、ボランティア情報やワークショップ・イベント、文京区で活動されている団体の紹介など、様々な地域活動の最新情報を見ることができます。

気になる情報は、どっとフミコムのサイトでチェックしてみてください！



<http://d-fumi.com>

ご相談ください

ボランティアに関心がある方、興味を持った方、

やってみたい！

してほしい

話を聞きたい！

など、ボランティアについての質問や問合せ、ご相談を下記、文京ボランティア支援センターまでご連絡ください。

発行 社会福祉法人 文京区社会福祉協議会 文京ボランティア支援センター

<http://www.bunsyakyo.or.jp>

〒113-0033 東京都文京区本郷4-15-14 文京区民センター4階

開所日 月～金曜日(祝日年末年始除く)

TEL 03-3812-3114 FAX 03-5800-2966 Eメール vorasen@bunsyakyo.or.jp

窓口開所時間 8:30～17:15

ぼらんていあニュースは、封入ボランティアの皆さまのご協力のもと、お届けしています。いつもご協力ありがとうございます。



ぼらんていあ ニュース

あなたらしく。 はじめる、つながる。 きっかけ応援誌！

TOPICS

- 1 つなぐ 手作りボランティア
- 2 文京ささえ隊ボランティア養成講座実施
- 3 「活動できない」を「できる」に変える！
- 4 「活動見本市」オンラインで開催

ご自由に お持ちください TAKE FREE



手作りボランティア

皆さまからお預かりした手づくりぞうきんの一部を、慈愛会保育園にお渡ししました。

今年は地域の施設などでの対面のボランティア活動の代わりに、自宅に居ながら始められるボランティアや寄付の活動も実施しています。手作りマスクや手作りぞうきん、使用済み切手や未使用のタオルの寄付など、自宅でできる活動も実はさまざまあります。今回はその中から、手作りぞうきんボランティア活動をご紹介します。



子どもたちにぞうきんをお披露目すると、「触っていい？」と興味津々に、小さな人差し指1本で表面をなでる子、さっそく両手で床を拭く子、先生に見せる子、さまざまでした。



一針一針、ボランティアさんの思いが込められたぞうきんを、ありがたく頂戴します。もったいないので、まずはテーブルふきんとして使わせていただきます。

ボランティアはいつでも大歓迎です。

お手伝いをしてくれることを求めるよりも、興味のある人に子どもたちと触れあって、かわいらしさ、素晴らしさを皆さんに知ってほしいと思っています。それがきっかけになれば、普段から子どもとの接し方も変わり、気づきも多くなると思うんです。



Go & Do
施設で ボランティア

福祉施設での軽作業ボランティア募集

障害のある方と一緒に、郵送物の封入や郵送準備などのお手伝いをするボランティアの方を募集しています。ご参加を希望される際は、文京ボランティア支援センターまでご連絡ください。

活動日 令和2年12月8日(火)・9日(水)
令和3年1月5日(火)・6日(水)・7日(木) 2月5日(金)・8日(月)・9日(火)
(1月6日以降は、10時～16時の間に行きます。単日もしくは午前のみ・午後のみでご参加いただけます。)

場所 文京槐の会 は〜と・ピア2 (小石川4-4-5) ※小石川郵便局の近く

文京ボランティア支援センター TEL 03-3812-3114 FAX 03-5800-2966
※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、状況に応じて延期あるいは中止となる場合もございます。



サービス介助士資格取得！ 文京ささえ隊ボランティア養成講座 4期目 参加者募集

「おもてなしの心」と「正しい介助技術」を習得し、高齢の方や障害のある方をサポートするなど、日々の暮らしのさまざまな場面で活躍するサービス介助士。その知識と技術を活かして地域で活動する、文京ささえ隊ボランティア養成講座を今年も開講します。

まずは説明会にご参加ください！

- 日時** 令和2年12月11日(金) 15時～16時
- 場所** 文京区民センター 4階 活動室B (会場変更の場合あり)
- 対象** 区内在住・在学・在勤の方 (講座修了後、区内でボランティア活動ができる方)
- 申込** 令和2年12月9日(水) まで (電話で下記へご連絡ください)
- 費用** 無料 (講座を受講をされる場合は、受講費用別途)



受講後は、ボランティアチーム文京ささえ隊として、福祉にかかわるボランティア活動にご参加いただけます。

説明会 → 講座受講 → 高齢の方、障害のある方への理解

相手の立場にたって、気付くことやお声掛けできる人を増やし、心のバリアフリーを目指しながら、地域での助けあい・ささえ合いを広げる活動を行っています。

講座受講の定員は10名を予定しております。講座受講にあたりましては、サービス介助士資格取得費用の一部として受講費2万円(半額助成後の金額として)がかかりますので、あらかじめご承知おきください。詳しくは説明会にてお伝えします。説明会へのご参加が難しい方は、事前にお電話にてご相談ください。

文京ボランティア支援センター TEL 03-3812-3114 FAX 03-5800-2966
※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、状況に応じて延期あるいは中止となる場合もございます。

EYES ON
特集 続々

「活動できない」を「できる」に変える！ 傾聴ボランティアの会「ぞうの耳」の皆さまの新たな取り組み

夏、秋、と追ってきた「ぞうの耳」の新たな活動。これまで、メンバー間でのオンライン会議の導入や、傾聴ボランティア活動を行ってきた高齢者施設へ季節のお手紙や色紙を送るなど、コロナ禍でも活動を「できる」に変える取り組みを進めてきました。対面を避けながらも、傾聴ボランティア活動で大切にしている「生の声」をどうやって届け、利用者の方とどのようにコミュニケーションを取ることができるのか、想いを届ける活動に向けて、チャレンジは続きます。

対面で活動できないことは、「傾聴」の本質を揺るがす事態でしたが、対面の代わりに、区内の季節の街並みやイベントなどを伝えるための動画に、ナレーションをのせて伝えながらコミュニケーションを取る活動を思案し、実際に施設の方と作戦会議を開きました。すると、面会が来られた時に活用しているテレビ電話の仕組みを利用すれば、利用者の方と対面をしなくても、一緒に動画を視聴し、季節のことや、思い出話などの語りを引き出しながら、傾聴の活動ができそうだとわかってきました。



そして早速、日頃から活動されていた音羽えびすの郷の皆さまと一緒にチャレンジが始まりました。最初のトライアルで思いのほか上手いき手応えを感じたと同時に、もっと利用者の皆さまとの対話を円滑にするためには、マイクの位置調整など機材に工夫が必要だとわかりました。傾聴の質を高めるために、語りかけの言葉や内容にもこだわり、さらに改善をしていきます。次回春号では実際に利用者の皆さまのお声を聴きながら、あたたかい「傾聴」について考えます。

FOCUS ON

そして今回は、ボランティア受入れ側のお声として、介護老人保健施設「音羽えびすの郷」のボランティアコーディネーター、川端さんにお話しを伺いました。今までどおりの受け入れができないコロナ禍において、あらためてボランティアの大切さも見えてきたようです。

つながりは大切にしたいですね。

ボランティア活動をすべて休止していた期間は、お願いしていた活動を職員が代行に行いました。工作などは職員だけでもなんとか取り組めたと思っていましたが、活動が再開されてボランティアさんがいらした途端、利用者の皆さまの顔つきが一気に変わるのを目の当たりにして、利用者さんとボランティアさんとの交流の大切さを痛感しました。



日頃からボランティアの皆さまとのコミュニケーションを大切に、気になることは活動メモに書いて報告いただくなど、ボランティアさんからの声も聴き逃さないよう工夫しています。歌や楽器などの音楽関係の活動はまだ再開できないのですが、待っていただいているボランティアの皆さまとは、定期的に連絡をとりながら、再開に向けて準備しています。